

人に寄り添い、心や身体の痛みを緩和する作業療法士



訪問看護ステーション雲雀 作業療法士

たけのうち さや

竹之内 沙弥 さん

- ✓ 屋久島町志戸子集落出身
- ✓ 高校時代に興味を持った作業療法士
- ✓ 父がご縁をつないでくれた訪問看護の仕事

島に戻って気づいた人の温かさ 地域のために恩返し

屋久島町の志戸子集落しとこで生まれ育った竹之内さん。高校生のとき、体を動かすことが好きだった竹之内さんに学校の先生が紹介した仕事が「作業療法士」でした。人と関われるのが楽しそうと興味を持ち、資格の取れる専門学校へ進学。卒業後は県内の総合病院に就職して2年ほど勤めたのち、知人の誘いで東京のクリニックへ転職しました。

東京で新たな一步を踏み出し、仕事に励んでいたそんな中、父親のがんが発覚。島に帰ることを決意しました。病気が進行し、最期は家で看取りたいと訪問看護ステーション雲雀に依頼したことが今の職場との出会いでした。「父にしてくれた声かけや、医療の関わり方が本当に素敵だった。この人たちと一緒に働

きたいと思い、社長に相談すると快く受け入れてくれた」と話します。

現在は、利用者の自宅へ行き、要望に合わせて体のケアやリハビリを行っています。島を出るまでは気づかなかった人の温かさ、自然の豊かさなど、島の魅力を感じるようになったという竹之内さん。「父が大変な時に周りの人が本当に支えてくれて、助けてもらった。少しでも地域の人が笑顔になれるよう、恩返ししたい」と島への思いを語ってくれました。



この職業・会社に 興味がある方へ一言

必要な資格を取るために学ばべき知識はたくさんありますが、大切なことは人が好きなこと、人に興味を持てること。利用者さんとの信頼を築くコミュニケーション力も必要です。様々なことをリハビリとして取り入れられるので、医療知識に限らず、何でも経験しておくくと役に立ちます。

